

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	
課題名	腎盂尿管悪性腫瘍術後の病理学的および機能的アウトカムにおける網羅的観察研究
研究期間	倫理委員会・学長承認日 ～2029年12月31日
研究の対象	2014/4/1～2028/12/31 の間に、当院で腎盂尿管癌に対して手術を施行した患者さん
利用する試料・情報の種類	■診療情報（詳細：手術時年齢、術前評価項目（病歴、腎機能、術前 CT/MRI 所見、術前化学治療の有無とその内容）、周術期内容（手術内容：鏡視下か開腹か、リンパ節郭清の有無、術中および術後合併症、術後腎機能の程度）、術後再発とその期間、術後後療法の有無とその内容、術後長期の腎機能の推移、術後長期における合併症、生存期間等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究の意義、目的	私たちは腎盂尿管癌の患者さんに対して鏡視下もしくは開腹による腎尿管全摘術を施行しています。また本疾患の新しい薬物治療として免疫チェックポイント阻害薬の使用も可能となっています。年月が経過するにつれて医療者の間でも手術前後の治療方針の変遷も認められます。われわれの責務として、その都度行ってきた手術を含めた診療がどのような成果を出しているのかを確認し、そしてその後の診療に役立てなければなりません。いままでに当院でこの手術を受けられた患者さんを対象に手術後のアウトカム（成果）をいろいろな観点から分析することが目的です。
研究の方法	2014 年から当院で腎盂尿管癌に対して外科手術を受けられた患者さんを対象としています。新たに取得する情報はなく、研究を行う時点ですでに存在する診療録を見直すことで研究を行います。具体的には癌の再発や術後に追加治療を行っているかといった腎盂尿管癌に関する事項を調査します。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。本研究で得た各個人情報には研究の目的以外で使用することはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 旭川市緑が丘東2条1丁目1番 旭川医科大学 腎泌尿器外科 TEL: 0166-68-2533

研究責任者：腎泌尿器外科・講師 和田 直樹
-----------------------